

◆医師の異動（7月）

医師の異動はありません

◆地域医療従事者研修会のご案内

■第296回 開放型病床生涯教育研修会

日時：平成30年7月5日（木）17：30～19：00
会場：市立長浜病院 講堂

テーマ：地域包括ケアを目指した栄養サポート
～京都の試み～

講師：愛生会 山科病院 消化器外科部長
京滋摂食嚥下を考える会 代表

荒金 英樹 先生

問合先：地域医療連携室 電話 0749-68-2300（代表）

■第297回 開放型病床生涯教育研修会

日時：平成30年8月9日（木）17：30～19：00
会場：市立長浜病院 講堂

テーマ：血尿の見方～腎臓代謝内科、泌尿器科それぞれの視点から～

講師：市立長浜病院
腎臓代謝内科責任部長 森田 善方

泌尿器科責任部長 横川 竜生

問合先：地域医療連携室 電話 0749-68-2300（代表）

■第2回感染管理専門コース研修

日時：平成30年7月18日（水）17：45～19：00
会場：市立長浜病院 講堂

テーマ：部門別感染対策

講師：市立長浜病院感染管理認定看護師

問合先：看護局教育支援室 電話 0749-68-2300（代表）

■湖北がんフォーラム2018

日時：平成30年7月22日（日）13：30～16：10
会場：長浜文化芸術会館ホール

テーマ：湖北でできる最新のがん診療

第1部：講演

「市立長浜病院でできること」

市立長浜病院 伏木 雅人 医師、田久保 康隆 医師

「長浜赤十字病院でできること」

長浜赤十字病院 駒井 康伸 医師、谷口 正展 医師、
原田 吉将 医師

第2部：パネルディスカッション

問合先：がん対策推進室 電話 0749-68-2300（代表）

◆6月7日（木）開放型病床生涯教育研修会を開催しました。

講師は、当院地域医療連携室 笠原みすず先生（皮膚・排泄ケア認定看護師）により「スキンテア～皮膚裂傷の予防と管理～」と題し講演をいただき、院内外から70名の参加がありました。

スキンテアという新しい概念・分類システム・リスクアセスメント・予防対策や管理について教えていただきました。温かい生食での洗浄や皮弁を残すこと。移動や体位交換などでも気をつけて看護や介護を行う必要性を再認識しました。



研修会後に寄せられた感想を一部紹介します。（アンケートより）

- ◇ スキンテアという言葉は初めて聞いたが、非常に分かりやすく説明され理解できた。
- ◇ スキンテアの患者さんの対応をすることもあるのでこの研修で学んだことを活かしていきたい。また、予防できるように危険な場所を注意しておこうと思う。

編集後記

雨の季節。睡蓮鉢の中でカエルが孵化し、毎晩元気に声をあげ存在をアピールしてくれています。鳴き声からどうも大きなカエルようで、姿を探すことに少し躊躇しています。

睡蓮はきれいに咲いてきているので鉢を洗うこともできず、少し困った今年の梅雨です。



Pink-Bu

ほっとひととき



太陽

イチ

あき

救急告示病院
日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療連携拠点病院
厚生労働省臨床研修指定病院
周産期協力病院
地域医療支援病院

市立長浜病院 地域医療連携だより

理念

地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」
を発展させ、地域完結型の医療を進めます。

平成30年7月1日号 No.163

市立長浜病院ホームページ

<http://www.nagahama-hp.jp/>

市立長浜病院 検索



市立長浜病院患者総合支援センター 地域医療連携室

〒526-8580 長浜市大成亥町 313 番地

TEL:0749-65-2720 FAX:0749-65-2730

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院病院事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。7月の外来診療担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収ください。 敬白

◆看護の専門性を発揮する活動

看護局長 松田 和子



地域包括ケアシステム構築の中で、看護師の活動範囲はますます拡大されてきている中、その中でよりリーダーシップを発揮しうる専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者等の活躍が期待されています。

当院の専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者を紹介させていただきます。

<専門看護師> 1名 がん看護専門看護師 山岸美紀

地域がん診療連携拠点病院として、がん対策推進室に所属し、がん対策推進事業全般を行うとともに、がん相談支援センターでの相談員を務めています。がん看護のスペシャリティナーズとして、がん患者の相談を行い支援することで看護の充実を図っています。院内外で看護師や医療者の相談、教育支援を行っています。

<認定看護師> 16名（右表）

それぞれの分野において、院内では看護専門外来運営、チーム医療の調整役として活動を行っています。院外でも地域住民講座、看護学校への非常勤講師、他施設などに出向き専門性を活かした啓発活動を行っています。

<看護師特定行為研修修了者 麻酔・救急・集中治療コース> 1名 小尾野恵実

現在、麻酔科の指示のもと、手術室に所属しています。

特定行為を適切なタイミングで倫理的かつ安全に行うため、医学的視点と看護的視点を融合した新たな看護展開を行っていくように、活動しています。

専門看護師・認定看護師・特定研修修了者の活動は、施設内にとどまらず地域の中でさらに活躍して欲しいと思います。患者さんの援助、職員のスキルアップ支援等、何でもご相談をいただければ、いつでも対応させていただきます。今後とも、皆様のご指導ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

分野	認定看護師	主な活動場所
皮膚・排泄ケア	笠原みすず・西尾多恵	褥瘡対策チーム所属 ストーマ外来運営
緩和ケア	宮崎恵子	緩和ケアチーム所属 リンパ浮腫外来運営
がん性疼痛看護	河野智一・大町衣里子	緩和ケアチーム所属
がん化学療法看護	河野真弓	緩和ケアチーム所属
がん放射線療法看護	入江桃好・杉山順哉	緩和ケアチーム所属
感染管理	中村寛子・藤木智美	感染管理チーム
糖尿病看護	西堀靖子・東昌代	糖尿病会議運営
手術看護	平井義一	術前相談運営
脳卒中リハビリテーション看護	杉山慎太郎	脳神経医療研究会所属
慢性呼吸器疾患看護	山口清香	呼吸サポート管理チーム所属
慢性心不全看護	杉村隆幸	ハートケアチーム所属 心臓リハビリ運営
認知症看護	山本理恵	認知症ケアチーム所属

◆フットケア外来始めました

フットケア外来担当 芝田 美里、他

今年5月から皮膚科外来にて当院通院中の糖尿病患者さんを対象としたフットケア外来を立ち上げました。フットケア外来では、専門的な知識・技術・資格を持った看護師が、医師と連携を図りながら、糖尿病患者さんの足病変の予防と、異常の早期発見に努めています。フットケアをきっかけに、患者さん自身が自分の足に関心を持ち、糖尿病に対して知識を深め、療養生活の自己管理ができることを目的としています。しかし、すでに足病変を発症してしまった患者さんについては、症状に応じて、各専門医に相談したり、皮膚・排泄ケア認定看護師と共に治療の支援も行っています。

フットケア外来は、医師の指示により糖尿病神経障害や足の血流障害を持っている患者さんの中から足病変のハイリスク患者さんを選択しています。完全予約制で、月曜日～金曜日の午後の時間を利用し1日2人まで実施しています。皮膚や爪の病変（魚の目・たこ・白癬等）・神経障害や血流障害等、足全体の観察とケアを行っています。フットケア外来を受けた患者さんからは、「こんなふう処置をしてもらえんやったら早く見てもらったら良かった」「ここ（フットケア外来）に来て、自分の足の感覚異常に気づくことができ足の状態がはじめて理解できた」等、喜びの声をいただいています。

糖尿病足病変は患者さんの日常生活に悪影響を及ぼし生活の質を低下させます。フットケア外来を通して医師・専門の看護師がチーム一丸となって、患者さんの生活に寄り添ったケアの提供ができるようお手伝いしていきたいと思えます。

◆ストーマ外来のご案内

皮膚・排泄ケア認定看護師 笠原 みすず、西尾 多恵

ストーマ外来はストーマ保有者（オストメイト）やご家族がストーマ管理をしていく上で悩まれる皮膚のトラブルや日常生活などについて、医師の指示のもと皮膚・排泄ケア認定看護師が対応しています。ストーマの定期的な観察、トラブルが生じたときにはストーマ装具の選択やケアの指導、日常生活の工夫や指導を行っています。

■外来日

原則火曜日 9:00～12:00（予約制）
火曜日以外・定期診察日に合わせることも可能な場合もあります。ご相談ください。

■場所

外科外来、泌尿器科外来

■持参いただくもの
ストーマ装具1組

【問い合わせ先】

患者総合支援センター



◆リンパ浮腫外来のご案内

緩和ケア認定看護師（リンパ浮腫療法士） 宮崎 恵子

リンパ浮腫外来では、当院でのがんの治療に伴いリンパ浮腫を発症されている方に、治療科の医師より指示を受けた担当看護師が、リンパ浮腫の予防や改善のためのケア、そしてリンパ浮腫を悪化させない生活の方法と一緒に考え、リンパ浮腫と上手に付き合っただけよう支援することを目指しています。

■対象となる方

当院の乳腺外来・産婦人科外来・泌尿器科外来で受診・治療歴があり、がんの治療に伴うリンパ浮腫でお悩みの方。

■リンパ浮腫外来で行うこと

- ・リンパ浮腫予防に関する日常生活指導
- ・スキンケアやご自宅でのケアの方法
- ・用手的リンパドレナージ
- ・症状に応じての弾性着衣の使用や弾性着衣装着下の運動について
- ・日頃の生活における腕もしくは脚との付き合い方

■予約方法

予約までには必ず、乳腺外来・産婦人科外来・泌尿器科外来いずれかの診療が必要となります。診療において必要な検査（下肢エコー、ABI）を受けていただいた結果、医師からの指示にて予約となります。（対応禁忌疾患除外のため）

■外来時間、費用

外来日：毎週金曜日 13:00～16:00（完全予約制）

* 自費診療（保険外診療のため）

◆心臓リハビリテーションとは

慢性心不全看護認定看護師 杉村 隆幸

心臓リハビリテーションとは、単に早期離床・早期退院を目指すだけのものではありません。退院後の外来心臓リハビリテーションへの参加・動機づけを図り、患者さん・ご家族それぞれが生活の中で実践できる疾病管理の確立を支援しています。

現状、入院期間は限られており、入院中だけでは患者さん・ご家族が疾病管理を確立することは困難です。また、退院して初めて気づく・困るといった出来事は多々あり、これらの相談窓口として当院では2016年より外来心臓リハビリテーションを開設し、日々患者さん・ご家族を支援しています。

当院では地域連携を強化するとともに、退院後のチーム医療を推進しています。特に心臓リハビリテーションはチーム医療が重要であり、患者さん・ご家族も大切なチーム医療の一員です。

また、湖北という地域性をふまえる・活かす上では患者さん・ご家族を地域で支援する多職種の方々も大切なチーム医療の一員だと考えます。患者さん・ご家族を支援するだけでなく、湖北の心臓におけるチーム医療を推進する上でも、是非当院の外来心臓リハビリテーションを活用していただければ幸いです。



◆糖尿病透析予防指導

糖尿病看護認定看護師 西堀 靖子

糖尿病の合併症の1つに糖尿病腎症があり、糖尿病腎症の状態は尿アルブミン値や尿たんぱく値によって時期があります。糖尿病治療ガイドによると、「腎症進展の予防には、肥満の是正、禁煙とともに、厳格な血糖、血圧、脂質の管理が重要で、早期の介入によって寛解も期待できる」とあります。また、日本病態栄養学会では、「糖尿病によって腎臓の機能が落ちる糖尿病腎症の患者に、人工透析が必要になる前の早い段階から適切な食事や運動などを指導したところ、約7割が1年間にわたり病状の悪化を抑えることができた」と発表されました。当院では外来通院の糖尿病腎症患者さんに、医師、看護師、管理栄養士が連携して腎症進展の予防を図る『糖尿病透析予防指導』を実施しています。早期の介入ができるよう対象患者さんの腎症の把握を行い、各々の立場で患者さんの生活に寄り添いながら関わっています。



◆腎代替療法

腎代替療法意志決定支援チーム 西堀 政樹、沖田 小百合、筒井 寛一、荒金 崇介

医療を取り巻く環境の変化や人々の権利意識の高まりなどから、患者自身が治療方針の決定に参加し、自分で検査や治療法を判断し決定する、自己決定の医療に変わってきています。また、腎不全看護の領域においても将来的に腎代替療法が必要となる患者・家族への意思決定支援のための関わりが求められています。

私たちは昨年11月より将来、腎代替療法を必要とされる保存期腎不全の患者・家族を対象に治療選択外来を実施し、患者・家族へ意思決定支援を行っています。

医師から将来、腎代替療法が必要と告げられた患者・家族は強い衝撃や大きな喪失感を受けることが多く、さらに治療を受け続けなければ生きていけないことを理解されると、治療への期待と将来への不安が入り交じり、精神的に不安定になられる方も多いです。

患者・家族が治療法を意思決定できるよう医師とともに連携し、今後も活動していきたいと思えます。

* 腎代替療法には腎移植と透析療法があり、透析療法は血液透析と腹膜透析の2種類に大別されます。

